

《家庭教育は全ての教育の原点》

家庭は、子どもにとって最初の学習の場であり、人間形成を図る上で重要な役割を果たします。家庭での教育は、基本的な生活習慣や自制心や自立心、豊かな情操、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的マナーなどを育むものであり、学校や地域社会での子どもたちの活動に、影響を与えるなど全ての教育の原点といえます。

家庭教育学級では、このような重要な家庭での教育の在り方について再認識し、知識を深めながら様々な学習を通して親としての資質を高めることを目指しています。

所沢市教育委員会では、子育てに関する学びの機会を提供するために、「心豊かな家庭づくりを支援する事業」として、家庭教育学級を開設しています。

《家庭教育充実の重要性》

近年、都市化、核家族化、少子化などに伴い家庭の教育力が低下していると懸念されています。また、昨今の問題となる青少年の行動の背景には、家庭の教育の在り方が密接に関係しているといわれ、家庭の教育力を高めていくことが極めて重要な課題となっています。行政の役割としても、家庭教育の一層の充実・向上を図るために、家庭を見つめ直す契機となるような学習の機会を提供するなど積極的な支援が求められています。

そのような時勢のもと、平成18年には、「教育の憲法」といわれる『教育基本法』が改正され、家庭教育の重要性が明記されました。

(家庭教育)

- 第十条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。
- 2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

『教育基本法』より



家庭教育学級代表者会議（第1回の様子）

家庭教育学級

〔期 間〕 6月初旬～2月中旬

〔学習時間〕 年間おおむね18回

〔学習形態・学習内容〕

○講演・講義…子育て・人権

防犯安全・救済

○心身の健康…食育・思春期の

ストレッチ・体

○施設等見学…クリーンセンタ

○ものづくり…郷土食（うどん

実技・実践 エコクラフト・

〔修了証書授与〕 運営委員会の

年間学



役員活動によって学校に行く
も増え、子どもたちが送って
学校生活を身近に感じるこ
くなり、「今日はこんなことを
ね」「こんなふうに過ごしてい
だね」などと声をかけると、
どもは嬉しそうにしてくれま

〔学習のあしあと〕から抜

◆家庭教育学級の開設状況

年 代	小中学校区家庭教育学級開設
昭和 39 年	家庭教育学級が市内小・中学校でスタート
46 年	「学習のあしあと」発行
47 年	若狭小・向陽中
48 年	泉小
50 年	美原中
51 年	安松小
52 年	北秋津小・美原小
53 年	林小
54 年	宮前小
55 年	牛沼小
56 年	上新井小・狭山ヶ丘中
57 年	北野小
58 年	荒幡小・椿峰小・安松中
59 年	並木小
60 年	並木東小・中央中・北野中・上山口中
平成元年	北中小
2 年	中新井小
4 年	東所沢小
8 年	和田小
18 年	中央小（中新井小と並木東小の統合）
	【上記の学校以外は、昭和 46 年以前に開設】

◆家庭教育学級のあゆみ

▲『萌芽から草創へ』 昭和40年代まで

◇学校教育の現代化・学力の向上を求めるうねり

⇒学校教育に関する学習機会の誕生（昭和39年）

⇒家庭教育学級生による報告集「学習のあしあと」刊行（昭和46年）



▲『拡充と発展へ』 昭和60年代まで

◇校内暴力・家庭内暴力の急増等社会問題化

◇小中学校でいじめ増加・子どもの情緒問題化

⇒「組織的運営の確立」と「学習内容の充実を図り、好ましい人間関係を作り出す」を運営目標に掲げる

⇒「学習のあしあと」を学級運営・企画の手引き書に位置づける

▲『本格的な生涯学習時代へ』 平成時代

◇少子化・個性重視・豊かな心・親の学び

◇学校・家庭・地域の連携による地域教育力の発揮を

⇒多様な学習施設の活用と学級間の交流（代表者会議・ブロック会議）

◇家庭の教育機能向上が極めて重要な課題

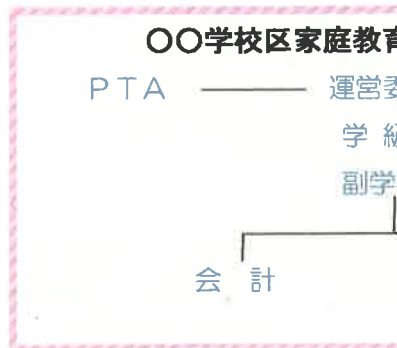
教育基本法の改正（平成18年）

⇒保護者の子どもの教育に対する責任や教育行政の家庭教育への支援が明記される

◆家庭教育学級の

開設にあたっては、原則と
等の役員・学級代表・その他
営委員会が組織されます。

運営委員会は、家庭教育学
また学級全体について協議し
果的に実施されるように、条
します。従って必ず設置する



◆運営委員会と

P T Aや家庭教育学級・学
保ちながら、個性豊かな活動
生かした豊かな教育活動の展
推進の立場からも、P T Aに
が望まれます。

◆どなたでも参

家庭教育学級の対象は、市
を中心に、家庭教育に関心の
として参加できます。

教育委員会では、社会教育
学級の企画・運営・学習計画
の支援活動を行っています。

所沢市教

〒359-8501 所沢市

教育総務部

TEL 04-2998-9242